

# 常なる磐

つねなる いわ season II  
令和3年11月26日(金)  
その2

## ◇ 修学旅行記③・京都編

1日目、興福寺観光を締めくくりに奈良をあとにし、貸切バスで宿舎の「グリーンリッチホテル京都駅南」に向かう。リッチの名前負けしないホテル。浴槽とトイレが扉で分割され、洗い場まである。食事もなかなかの美味◎。



食後は「夜の観光」。昔のように新京極ではなく、ホテル目のライトアップ京都駅。



2日目、最初の観光地は、五重塔で有名な「東寺」。開門を待っての入場で、人の



いない寺社はとても幻想的。観光客も少なく、「早朝の東寺」は超おすすめ。

五重塔の内部まで拝観し、超幸運。



続いて「三十三間堂」へ。ここは地味だが、修学旅行からは外せない寺社。修学旅行生も少なく、静か。

実長120mにも及ぶ大本殿も壮観だが、本尊と1,000体の脇仏(千手観音像)が整然と並ぶ様は圧巻。後光が差しているように見え、思わず手を合わせたくなる。合掌。



因みに、三十三間堂が「一万仏」と言われる所以は、1,000体の千手観音の内部が空洞となっており、ここに観音様が描かれた数十枚の仏画が収まっている。

つまり、実像1,000体×仏画10体=10,000体という豆知識。



次なる訪問地は「清水寺」。  
バス中、清水寺の事前学習をしたK君が、3本の「音羽の滝」について語った豆知識。

『右から【健康】【美容】【出世]のご利益あり』との説明。山に向かって右なのか、山を背にして右なのか…まあ、美容だけは間違いはないということだが、もう一息…。

ところが、K君の補足説明が鋭かった。『コロナだから水は飲めません。でも、左手の小指に水をつければ大丈夫。ただし、水が乾くまでしゃべらないように。そうしないと、願いはかないません。気をつけましょう。』…やるじゃないかK君。

昼食は、修学旅行唯一の班別行動。京都・清水の地で、お店探し。

1班が選んだお店は「甘味処」。「あんみつ」に「善哉」、「パンケーキ」。



2班は「和食処」。「漬物と白飯」、「卵かけご飯」。値段は何と 350 円。

二条城 (NHK 大河ドラマ「青天を衝け」のロケ機材多数確認) の見学を経て、最終目的地は金閣寺。  
通常なら、「人の流れの中で歩かされ、その合間に金閣を臨む」と言ったところだが、こんなに空いている金閣寺は初めて。いろいろな場所から角度を変えて写真撮影。それでも人は写り込まない。

それにしても見事な輝き。近くで見ても、まるで模型のよう。  
茶店のおかみさんに話を聞くと、今年の 12 月に金箔を貼り直したばかりとのこと。幸運。



そこで児童から最高の表現が出た。『教科書より きれい…』で、より輝きを増す。



こんな写真を撮りながら、京都の街ともお別れ。

京都駅で最後のお買い物。K君は何やらメモを見ている。聞くと「母からのリクエスト あじやり 阿闍梨餅。これを知らない京都人はいない。岡崎の八丁味噌」 上手い!!